



The 114th Annual Meeting of the Japanese Society of Pathology
第114回日本病理学会総会 ランチョンセミナー24
共催:第114回日本病理学会総会/株式会社ニコンソリューションズ



演題

私が歩んだ病理学、そしてその未来

私は医学部5年生で病理学に興味を抱き、卒業後直ちにアメリカでの研修を決意。コロラド大学で免疫組織化学や細胞診、Henry Ford Hospitalで電子顕微鏡を含む診断技術を習得しました。帰国後、東海大学でこれを実践し、内分泌腫瘍の機能分化の基礎研究や体腔液および乳腺を対象とした病理診断への応用を進め、多くの知見を発表。国内外で講演の機会を得る中、最近ではデジタル技術やゲノム知識が統合され、これまでの知識の輪が”統合の医学・医療”として世界的レベルへ大きく広がっており、病理学が世界的医療の中核として進化する可能性に胸躍らせています。



演者

長村 義之 先生

日本鋼管病院 病理診断科 部長
慶応義塾大学医学部 客員教授
東海大学 名誉教授



座長

森井 英一 先生

大阪大学大学院医学系研究科 病態病理学講座 教授
大阪大学医学部附属病院 病理部 部長

4月19日 Sat 12:00~12:50

I会場 仙台国際センター展示棟 1F 会議室3

<受付方法>

本総会のランチョンセミナーは事前予約制(オンラインのみ)となります。
申込受付期間:3月10日(月)12:00~4月4日(金)12:00
事前予約された整理券は、ネームカードと一緒に印刷されますので、当日会場にて発券いただけます。当日配布の整理券も用意がございます(先着順)。

※チケットが余り定員に余裕がある場合は、チケットをお持ちでない方もご入場いただけます。
※ランチョンセミナー開始と同時にチケットは無効となります。

<共催>

第114回日本病理学会総会 / 株式会社ニコンソリューションズ

<お問合せ先>

株式会社ニコンソリューションズ バイオサイエンス営業本部
Email:Nsl-bio.Marketing@nikon.com